

6. 発表業績・報道実績

(1) 学術誌・学会等での発表

発表業績	発表(発明)者所属	発表(発明)者氏名	発表誌. 巻(号), 掲載頁 (最初の頁-最終頁), 発行年
ケンサキイカ鮮度指標の検討	利用化学科	岡本 満, 寺谷俊紀, 開内 洋	令和2年度水産利用関係研究開発推進会議 研究会資料, 36-37 (2020. 11. 19)
島根県沖合底びき網漁業における超高分子量ポリエチレン繊維製網地による抵抗削減効果-模型実験, 数値解析, 海上実験による検討-	海洋資源科	江幡恵吾, 沖野 晃, 鈴木勝也	日本水産学会誌, 87(4), 348-356 (2021. 7. 15)
日本海南西海域に生息する主要底魚類における漁獲状況の昼夜差の検討	海洋資源科	金元保之, 道根 淳	水産海洋研究, 85(3), 141-152 (2021. 8. 25)
島根県次世代底びき網漁業プロジェクト①沖合底びき網(2そうびき)漁業を対象とした産官学連携による取組概要と漁具の検討	海洋資源科	沖野 晃, 竹谷万理, 吉田太輔, 江幡恵吾, 鈴木勝也, 三好潤, 高橋竜三, 高橋秀行	令和3年度日本水産学会秋季大会プログラム (2021. 9. 13-16)
島根県次世代底びき網漁業プロジェクト②SDモデルによる代船建造の検討	海洋資源科	三好 潤, 高橋竜三, 高橋秀行, 安田健二, 山本晋玄, 沖野晃	令和3年度日本水産学会秋季大会プログラム (2021. 9. 13-16)
島根県次世代底びき網漁業プロジェクト③船上作業改善の検討	海洋資源科	高橋秀行, 高橋竜三, 安田健二, 山本晋玄, 三好 潤, 竹谷万理, 吉田太輔, 沖野 晃	令和3年度日本水産学会秋季大会プログラム (2021. 9. 13-16)
新たな脂質測定器の開発と実用化	利用化学科	石橋泰史, 寺谷俊紀, 開内洋, 久米英浩, 大野 修, 岩崎一雄, 野口康宏, Maciej Kretkowski	令和3年度水産利用関係研究開発推進会議 研究会資料, 34-35 (2021. 11. 16)
フレークアイスによるアニ鮮度向上試験	利用化学科	岡本 満, 石原成嗣, 曾田一志	令和3年度水産利用関係研究開発推進会議 研究会資料, 40-41 (2021. 11. 17)
<i>Chaetoceros calcitrans</i> の屋外における大量安定培養の試み	浅海科	佐々木 正	水産増殖, 69(1), 55-69 (2021. 4. 20)
メダイ筋肉の死後変化に及ぼす貯蔵温度と致死方法の影響	利用化学科	岡本 満, 井岡 久	水産技術, 14(2), 1-9 (2022. 2. 28)
マイワシ・サバ類の炭素・窒素安定同位体比の地理的分布特性に関する比較研究	海洋資源科	中村健人, 梅澤 有, 由上龍嗣, 川端 淳, 渡邊千夏子, 上村泰洋, 寺戸稔貴, 橋本涼介, Wan Xin4, 吉川知里, 伊藤進一	日本海洋学会海洋生物学研究会 海洋生物シンポジウム 2022 (2022. 3. 19)
近赤外分光法による非破壊評価 赤外分光法の水産業の現場への応用 「どんちっちアジの脂質評価」	利用化学科	清川智之, 開内 洋, 石橋泰史, 久米英浩	令和4年度日本水産学会春季大会シンポジウム「水産物品質の非破壊計測技術」(2022. 3. 26)

島根県におけるイトヨリダイの水揚げ実態	海洋資源科	寺門弘悦	令和3年度日本海ブロック資源評価担当者会議 (2022. 2. 14-15)
島根県における切り身状態で出荷されたアンコウ類（切りあんこう）の種判別および混合率について	海洋資源科	谷口祐介	令和3年度日本海ブロック資源評価担当者会議 (2022. 2. 14-15)

(2) 報道実績

日付	新聞社	記事	担当部署
R03/04/08	山陰中央	島根の漁業 過去10年で最少 総生産額15%減 155億2200万円	海洋資源科
R03/04/13	山陰中央	「どんちっちアジ」脂質正確に 島根県水産技術センター測定器を共同開発	利用化学科
R03/05/08	山陰中央	いわみアカデミア 研究の現場から 魚の脂質測定器開発 県水産技術センター利用科学科 石橋泰史研究員 分光器改善で誤差軽減 宍道湖シジミ資源量過去5番目の少なさ 6月推定値	利用化学科
R03/05/23	山陰中央	記者×どんちっち コロナと不漁 悔しい延期 別の魚を選ぶ案も/次に向け切り替え	利用化学科
R03/05/26	みなと	潮流変化を即時確認 島根県が観測ブイ 定置の急潮被害抑制へ	海洋資源科
R03/05/26	山陰中央	どんちっちアジ出荷始まる 水揚げ厳しい見通し	利用化学科
R03/05/29	山陰中央	浜田の干しガレイ生産減 骨多く身少ない・・・消費者敬遠 旅行者には好評 復権模索	利用化学科
R03/05/30	山陰中央	戦前の新聞に竹島ルポ アシカの生態記し研究者注目	海洋資源科
R03/06/06	読売	魚の脂質 高精度で測定 どんちっちアジも5秒で判定！ 浜田のセンター 自動で記録 負担減	利用化学科
R03/06/10	水産経済	島根県沖でケンサキイカ好調 沖底船が過去最高漁獲 県水産技術センター	海洋資源科
R03/06/18	山陰中央	ケンサキイカ久々の豊漁 サイズも大型 漁本格化 浜田漁港 水揚げ前年同期の6倍	海洋資源科
R03/07/03	山陰中央	神西湖シジミ極度の不漁 晩秋の台風影響か 急がれる漁場環境改善	内水面科
R03/07/13	みなと	ケンサキイカ平年比2倍 86トン 島根沖底20年漁期 総漁獲1割減 2500トン	海洋資源科
R03/07/21	水産経済	宍道湖ヤマトシジミ 資源量は安定維持 島根県水産技術センター	内水面科
R03/09/01	山陰中央	ぶれない意思 起業の心得	利用化学科
R03/09/16	山陰中央	どんちっちアジ 水揚げ最低 取れても脂質基準以下 加工・販売業者から悲鳴	利用化学科 海洋資源科
R03/11/26	山陰中央	浜田市でノドグロ給食 沖底船団が4300尾提供 小型魚獲り控え大型増加	海洋資源科